

## 目皿（スリット部）の取り外し方法

	底面循環金具 CSシリーズ 側面・底面兼用循環金具 CUシリーズ	ビス取外し
	側面循環金具 U4シリーズ 底面角型循環金具 SK4シリーズ	ビス取外し
	吐出専用金具 T4シリーズ	ビス取外し
	流量調整機能付吐出金具 SUCシリーズ	巢の部分のみ反時計方向に回転 (ねじ式です)
	挟み込み循環金具 ULSSZシリーズ ULSLZシリーズ ULSMZcシリーズ	ビス取外し
	底面循環金具 SSPシリーズ SSTシリーズ	ビス取外し
	側面吸込金具 UPシリーズ UN2シリーズ	ビス取外し
	吐出専用金具 TPシリーズ	ビス取外し
	床排水金具 Sシリーズ	巢の部分のみ反時計方向に回転 (ねじ式です)
	浴槽排水金具 CHシリーズ HSPシリーズ 挟み込み排水金具 ULHSシリーズ ULHSM-cシリーズ	専用ハンドルで抜栓 ・HSPとULHSは同一ハンドルです CHと共用は出来ません

## お手入れの方法

中性洗剤を使用し、柔らかい布で汚れを拭き取って下さい。ヌメリが残らない様にご注意下さい。

## 点検

目皿の浮き上がり・ビスの浮き・腐蝕等は、安全の為にご使用前に必ず確認して下さい。

# 循環金具の基準水量

## ■吸込み側に使用する金具

ろ過循環又はジェットバスシステムの吸込用は目皿の開口面積が小さすぎると目皿表面の流速が早くなり、入浴者が吸付かれたりポンプのキャビテーションの原因となりますので適正条件で計画された配管の断面積に対して200～300%の開口率を確保できる個数を設置して下さい。

さらに一個で満足する開口率であっても閉塞を考慮し必ず最低数を二個以上として下さい。

## ■吐出側に使用する金具

ろ過又はジェットの関連設備機器に対する影響は100～150以上の開口率で問題ありませんが、浴槽内の水流分布と入者の安全性、快適性を考慮し、二個以上（大きい浴槽は三以上）の取付けをおすすめします。

■基準水量は吸込み側に使用する場合は2倍で

### ■底面循環金具



口径	開口率	基準水量
32A	490%	60 L/min
40A	295%	90 L/min
50A	265%	162 L/min
65A	155%	164 L/min
80A	300%	419 L/min
100A	180%	424 L/min

- 浴槽底面取付け用金具です。
- 調節管を組み合わせる場合は、テーパネジ側を接続して下さい。
- 設置箇所は入浴者の集まる所や通路となりやすい所を避けて下さい。
- 目皿の緩みなど、定期的に安全点検を行って下さい。

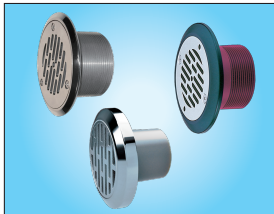
### ■底面角型循環金具



口径	開口率	基準水量
25A	1100%	30 L/min
32A	710%	60 L/min
40A	1110%	90 L/min
50A	690%	170 L/min
65A	680%	300 L/min
80A	510%	420 L/min
100A	300%	707 L/min

- 浴槽底面取付け用金具です。
- 設置箇所は入浴者の集まる所や通路となりやすい所を避けて下さい。
- 目皿の緩みなど、定期的に安全点検を行って下さい。

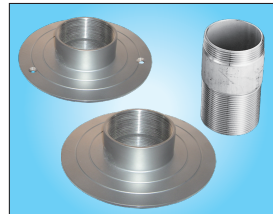
### ■側面循環金具



口径	開口率	基準水量
25A	72%	11 L/min
32A	61%	14 L/min
40A	63%	24 L/min
50A	53%	32 L/min
65A	46%	49 L/min
80A	57%	80 L/min
100A	62%	146 L/min

- 浴槽側面取付け用金具です。底面への取り付けは出来ません。
- 開口率が小さいのでご注意下さい。
- タイル施工後取付けを行って下さい。

### ■防水皿 ■調節管



- 接続管はストレートネジ側を防水皿にテーパネジ側を目皿部にねじ込んで下さい。

- 防水層貫通金具です。
- ツバ面の溝加工側が防水層（浴槽内側）方向です。
- スリーブは廻り止め羽根の位置まで確実に埋め戻しを行って下さい。

### ■挟み込み循環金具



口径	開口率	基準水量
32A	61%	14 L/min
40A	63%	24 L/min
50A	53%	32 L/min
65A	46%	49 L/min
80A	57%	80 L/min
100A	62%	146 L/min

- 浴槽側面取付け用金具です。底面への取り付けは出来ません。
- 開口率が小さいのでご注意下さい。
- 二枚のゴムパッキンを浴槽内側と外側に使用して下さい。PPパッキンは外側のゴムパッキンとナットの間に挟み込んで下さい。
- 締付けは本体を回転させずナットにて行って下さい。

### ■その他

- ABS樹脂/SUS316製の温泉対応品の耐熱温度は55℃です。
- 温泉対応品の接続方法の内  
ソケット式：VPソケット規格品です。  
パイプ式：製品側がHTVP規格のパイプです。
- 温泉対応品のパイプ接着式は底面循環金具はVP接着剤、側面と吐出金具はHT接着剤を使用して下さい。